

10月 4・5日 地域資源の活用学ぶ

7名の議員で、青森県田子町を訪問しました。

4日は、町内スキー場の山頂付近にある宿泊施設「ロッジカウベル」を視察しました。30年ほど前に町が整備したのですが、2年前の大規模改修を機に、千葉県から移住した元地域おこし協力隊が起業した会社が地域資源を活用しながら運営しています。夏場の集客にも力を入れており、今後は体験ツアーの展開も考えているとのこと。人材と地域資源が上手くマッチングされた観光施策を学ぶことができました。

5日は、「にんにくとべごまつり」に参加しました。人口6千人弱の町に、1万人を超えるのではないかとされる来場者で、大盛況ぶりがうかがえました。祭りにかける主催者側の情熱と、町民の方々と共に楽しむという姿勢に感銘を受けました。江戸時代末期の古民家を移築した交流施設「みろく館」では、黒光りした床板や梁など、歴史の重みを感じるとともに新建材では味わえない温もりを素足で感じ取ることができました。

(高坂恭子)



晴天時には海が見える抜群の眺望



にんにくとべごまつり開会式

10月 28~30日 歴史と今に学ぶ

那覇空港に隣接する「瀬長島ウミカジテラス」。元は不法投棄によりゴミの島と呼ばれていましたが、現在はイタリアのアマルフィをモデルとしたリゾート施設に変貌し、白を基調とした街づくり、厳選されたテナントの誘致によりインバウンドや修学旅行などを取り込み、大変な賑わいを見せています。本町も成田空港を見下ろす公園構想があり、参考となりました。道の駅「ぎのぞ」では、施設整備の財源問題や設置者である行政と指定管理者の問題。観光協会との連携取り組み、出品者と運営側とのルールや物販の方向性など、多岐にわたり学ぶことができました。

道の駅「かでな」と旧海軍司令部壕では、沖縄戦の歴史と今の沖縄を学びました。旧海軍司令部壕は、昭和19年、日本兵3000人によって掘られた旧海軍の指令基地です。当時のまま残されている指令室や作戦室など、その一部が公開されており、未だ手つかずの場所もあります。壕内では最終的に4000人の兵士が壮絶な最期を遂げたとされ、案内の方が言われた「皆さんが歩かれる壕内は、今は舗装されていますが、戦時中、その通路にはたくさんの屍が横たわっていたことを忘れないでください」との言葉は非常に重く、改めて戦争の悲惨さと平和の大切さを学びました。

(副議長 石渡悦子)



白に統一された47ものテナントが立ち並ぶ



「道の駅かでな」、米軍基地の説明を聞く

12月定例会の傍聴者数は延べ10名でした

インターネットで録画中継も行っています

多古町

検索

→ 多古町ホームページ → 多古町議会 → 議会中継 → 録画中継



← 多古町議会
録画中継はこちらから

3月定例会は、3月4日(火)から開会予定です。

お詫びと訂正

議会だより114号において記載誤りがありました。正しくは次のとおりです。お詫びして訂正いたします。
P5 税務課長の答弁中、誤「東京国税局」→正「千葉地裁」
P20 News&Topics 都市町議会研修会、誤「国際資格」→正「国家資格」、誤「橋本幸太郎」→正「榎本幸太郎」